

鋁工業指數參考図表集
(2020年4月速報)

2020年5月29日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年4月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

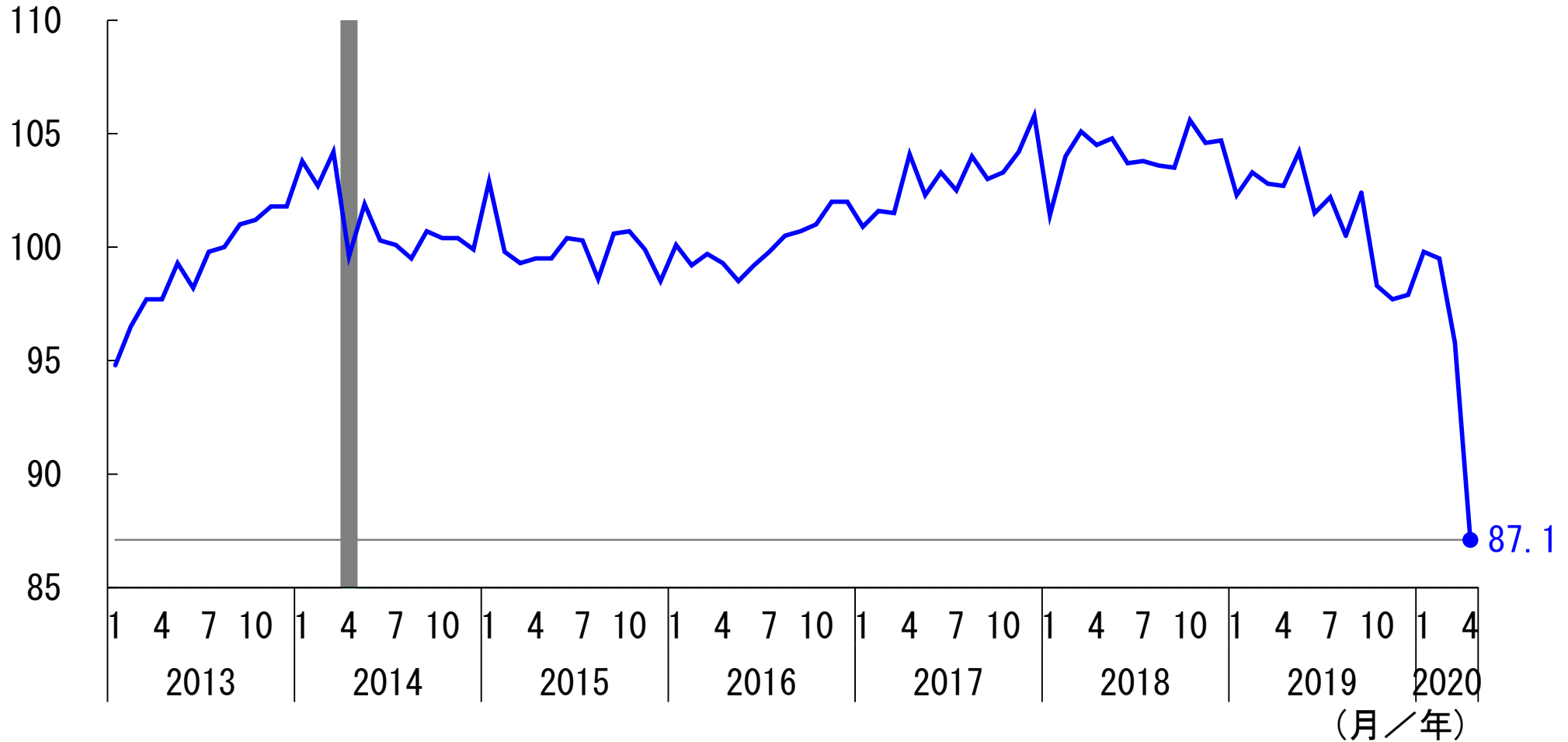
生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	87.1	85.0	106.1	137.4
前月比	-9.1%	-8.8%	-0.3%	12.7%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020.4 87.1 ②2013.1 94.8 ③2020.3 95.8	2015年基準最低水準 ①2020.4 85.0 ②2020.3 93.2 ③2019.11 96.8	2020.2 104.4以来 ①2014.3 95.3 ②2013.11 95.6 ③2013.8 96.2	2015年基準最高水準 I 2020.4 137.4 II 2020.3 121.9 III 2019.12 115.6
前月比の動き	3か月連続－ (2020.2～当月)	2か月連続－ (2020.3～当月)	2か月ぶり－ (2020.2以来)	2か月連続＋ (2020.3～当月)
前月比幅	2015年基準最低水準 ①2020.4 -9.1% ②2014.4 -4.4% ③2018.1 -4.2%	2015年基準最低水準 ①2020.4 -8.8% ②2014.4 -6.0% ③2020.3 -5.8%	2020.2 -1.7%以来 ①2013.11 -2.2% ②2016.10 -2.0% ③2014.3 -1.8%	2015年基準最高水準 I 2020.4 12.7% II 2020.3 8.4% III 2014.4 7.4%
前年同月比(原指数)	-14.4%(86.5)	-15.9%(83.3)	2.7%(103.9)	28.1%(134.8)
前年同月比の動き	7か月連続－ (2019.10～当月)	7か月連続－ (2019.10～当月)	18か月連続＋ (2018.11～当月)	17か月連続＋ (2018.12～当月)
前年同月比幅	2015年基準最低水準 ①2020.4 -14.4% ②2019.11 -8.5% ③2019.10 -8.2%	2015年基準最低水準 ①2020.4 -15.9% ②2019.11 -8.0% ③2019.10 -7.6%	2020.3 2.9%以来 I 2014.11 7.0% II 2014.12 5.9% III 2014.8 5.5%	2015年基準最高水準 I 2020.4 28.1% II 2014.11 13.2% III 2020.3 12.6%

鋳工業生産指数の動向

・ 2020年4月の鋳工業生産指数は、87.1(前月比-9.1%)と3か月連続の低下。

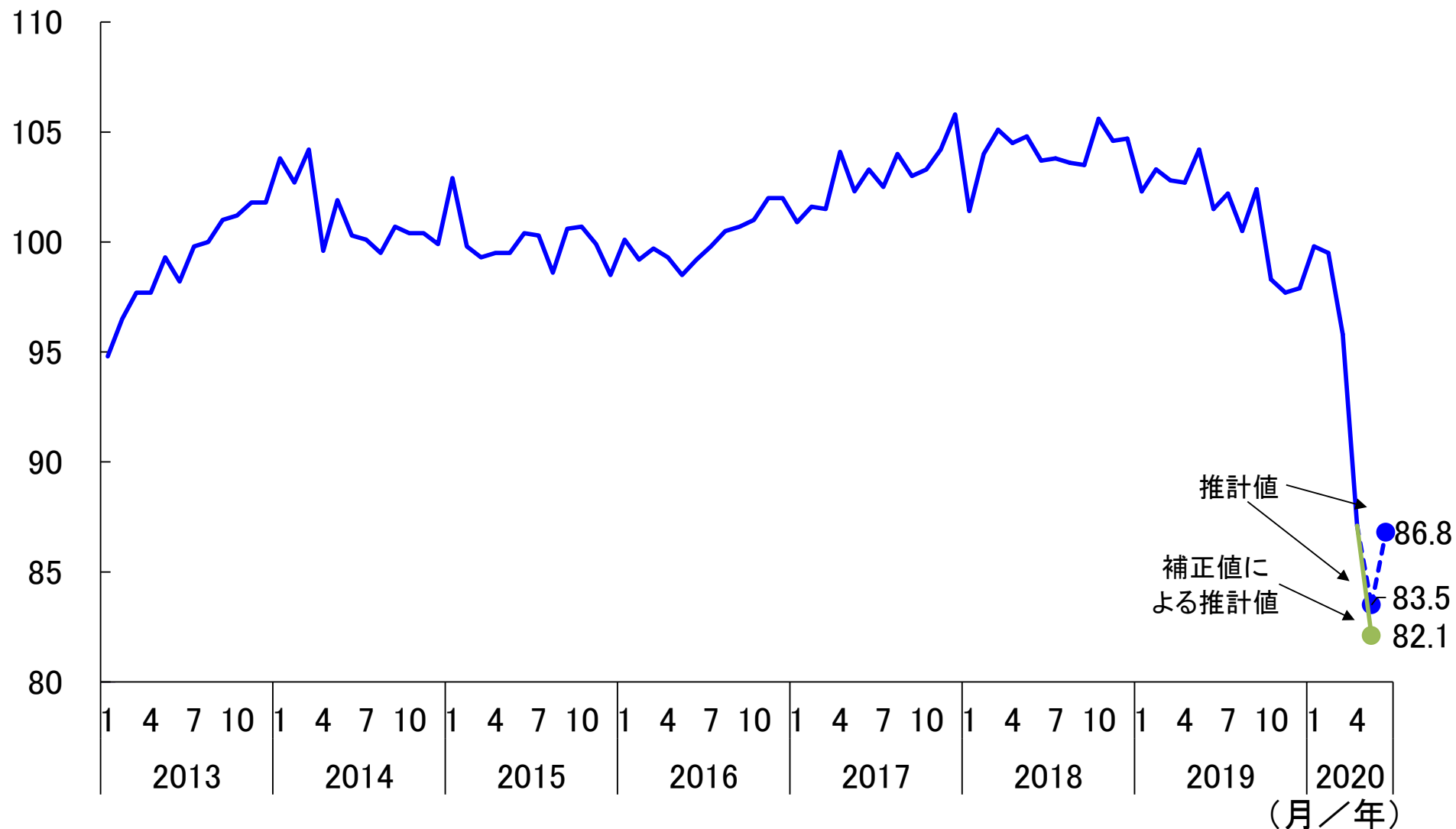
(2015年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	2.5%	1.9%
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	31.5%	5.7%
		その他の生産用機械	6.9%	1.1%
	2位の業種			
	品目			
3位の業種				
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-33.3%	-55.9%
	品目	乗用車	-40.8%	-33.6%
		車体・自動車部品	-28.5%	-18.8%
	2位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	-14.3%	-9.4%
	品目	熱間圧延鋼材	-13.7%	-1.8%
		非鉄金属鋳物	-27.7%	-1.7%
3位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	-25.0%	-7.4%	
品目	航空機部品	-66.4%	-8.0%	
	船舶・同機関	-4.9%	-0.7%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	31.5%	5.7%
	2位	電子計算機	49.3%	2.7%
	3位	電子デバイス	18.8%	1.9%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	乗用車	-40.8%	-33.6%
	2位	車体・自動車部品	-28.5%	-18.8%
	3位	航空機部品	-66.4%	-8.0%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	0.3%	0.5%
		半導体製造装置	28.6%	4.4%
		金型	15.4%	1.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.5%	-0.9%
		アルミニウム製建具	-2.8%	-0.2%
		板ガラス	-21.5%	-0.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.7%	-1.4%
		仕上用化粧品	-12.7%	-0.7%
		乳液・化粧水類	-4.3%	-0.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-32.8%	-31.3%
		普通乗用車	-42.9%	-22.7%
		軽乗用車	-45.1%	-3.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-11.3%	-61.4%
		駆動伝導・操縦装置部品 自動車用エンジン	-35.2% -33.8%	-7.7% -6.0%

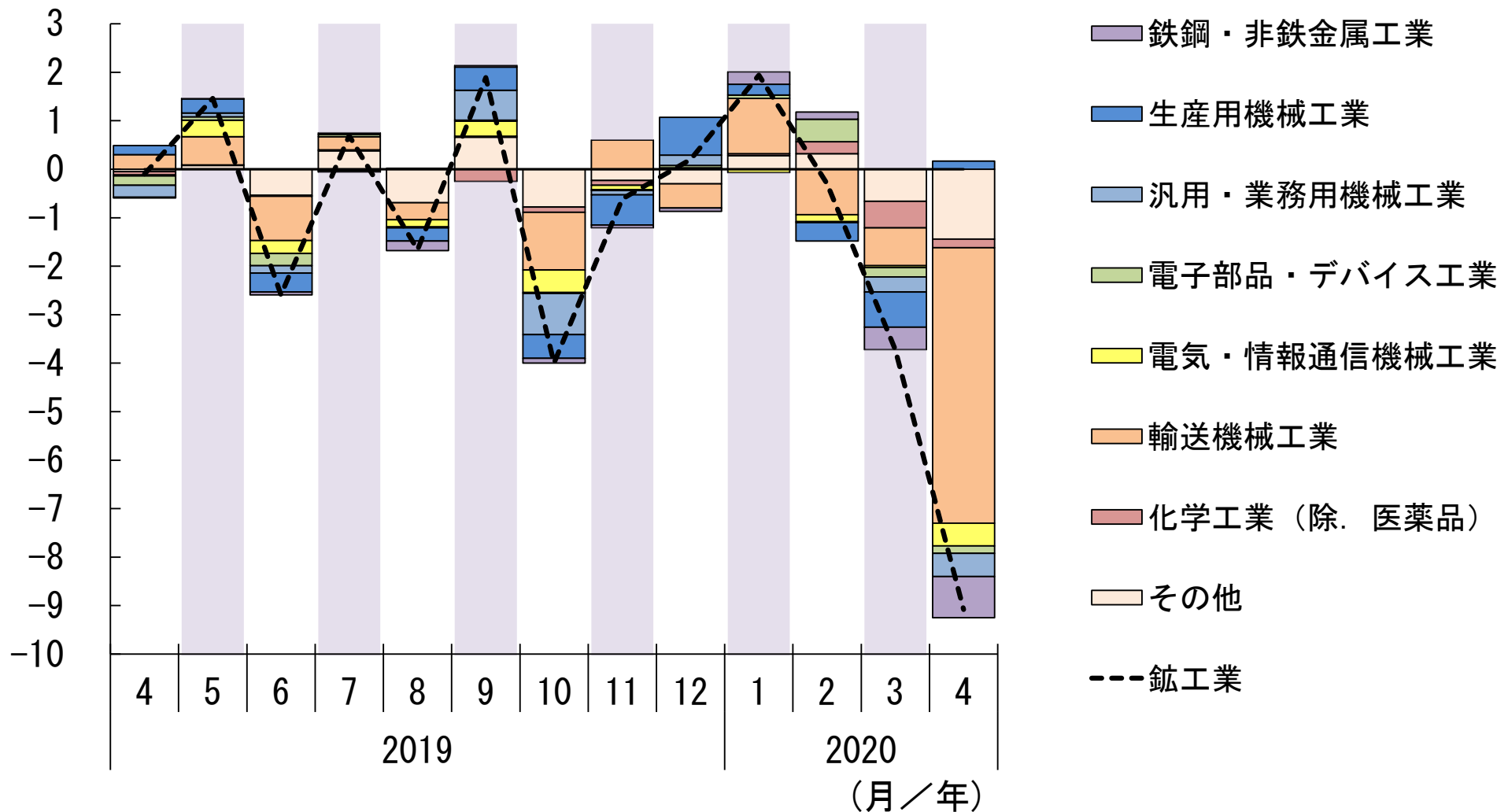
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2020年4月の生産指数は、生産用機械工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比-9.1%の低下。

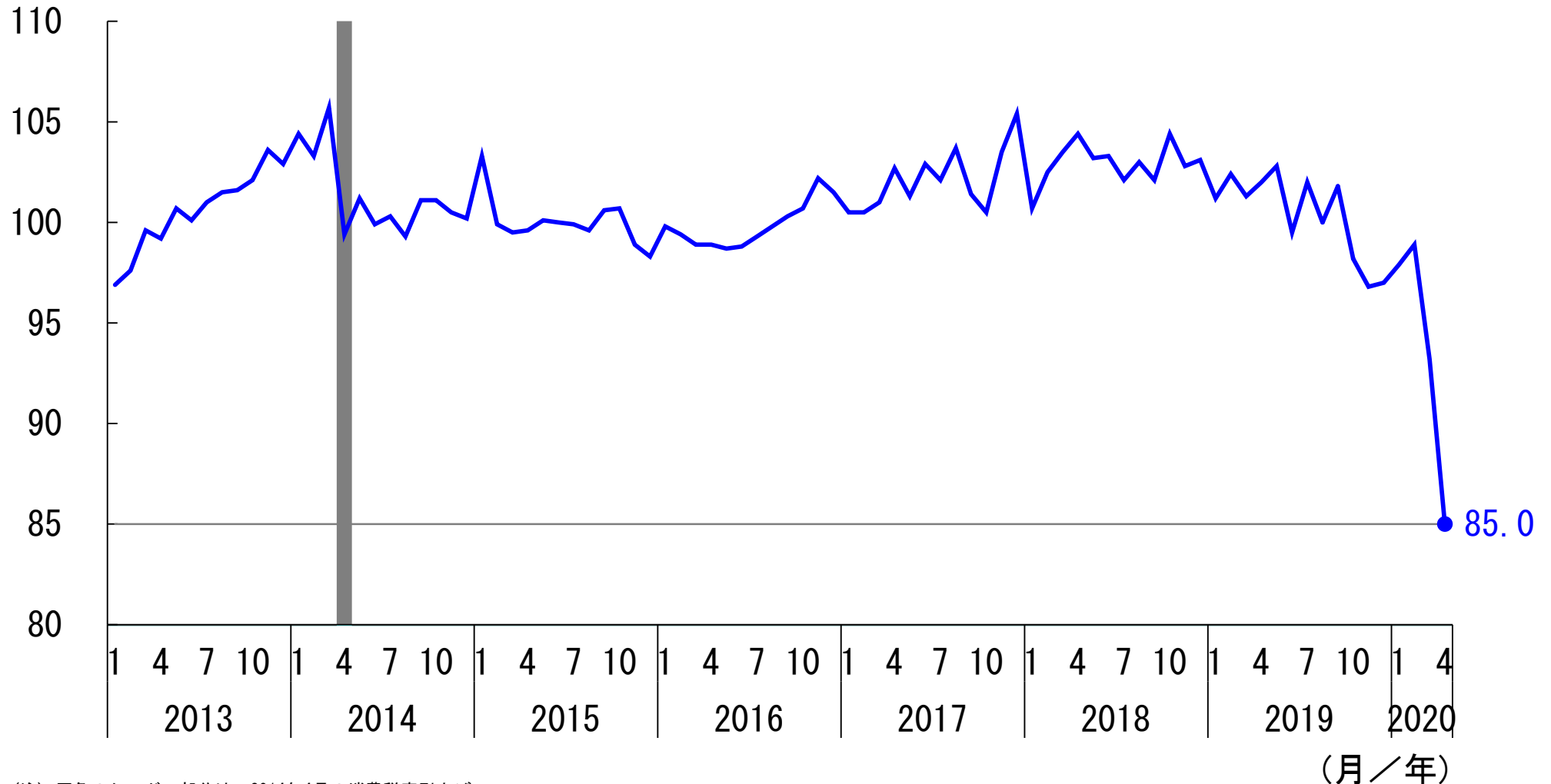
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

・ 2020年4月の鋳工業出荷指数は、85.0(前月比-8.8%)と2か月連続の低下。

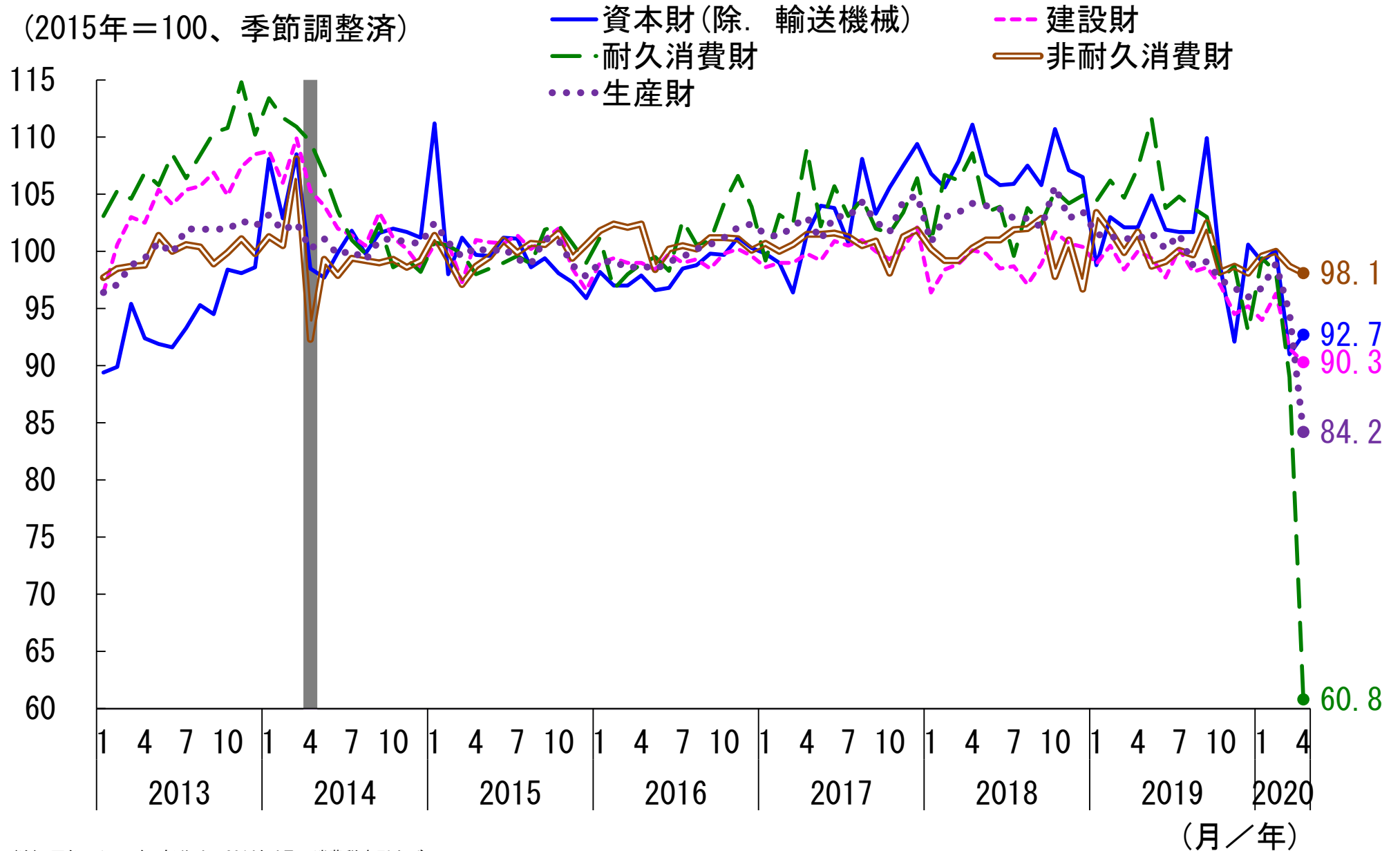
(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

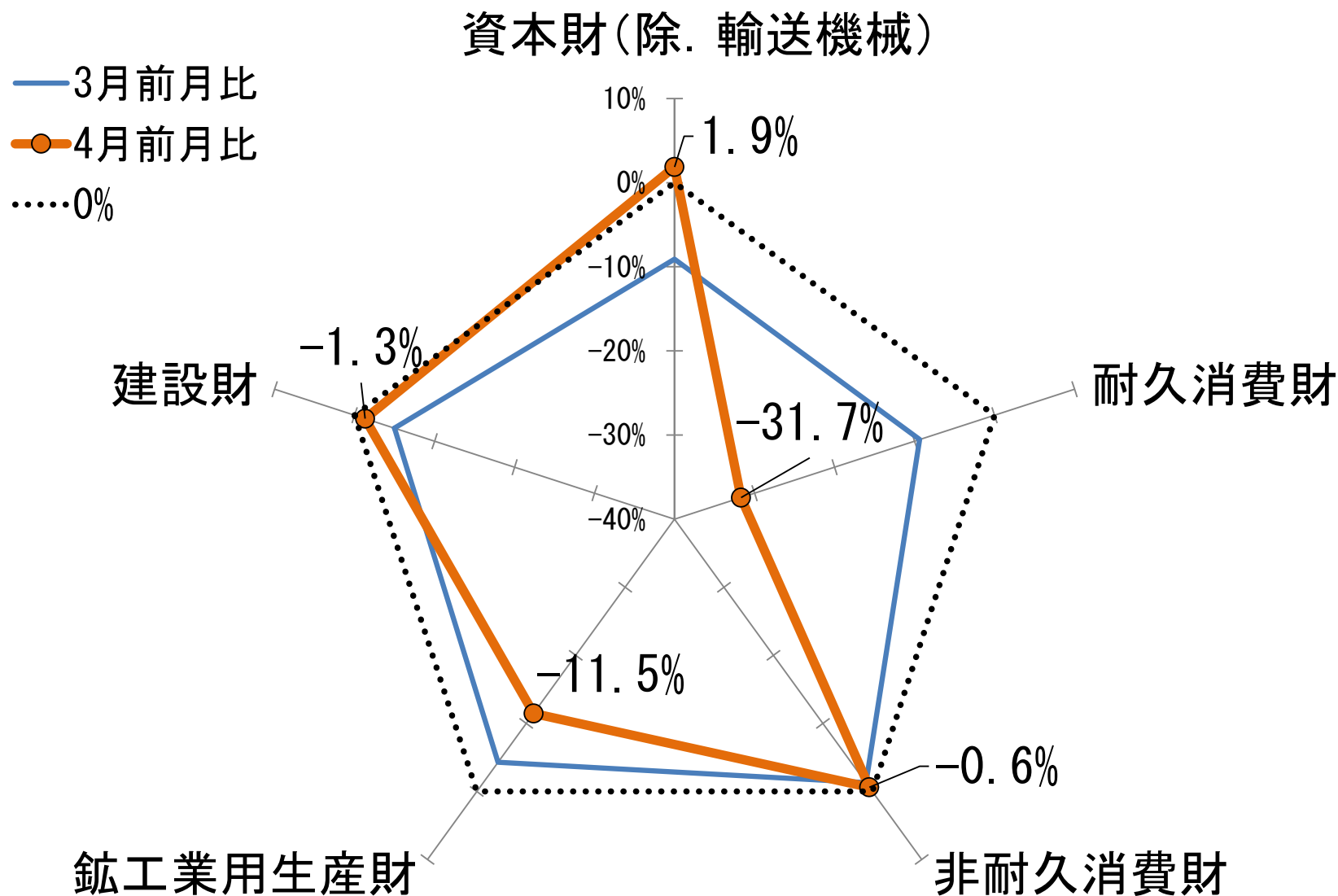
財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（2020年3月、2020年4月）



2020年4月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

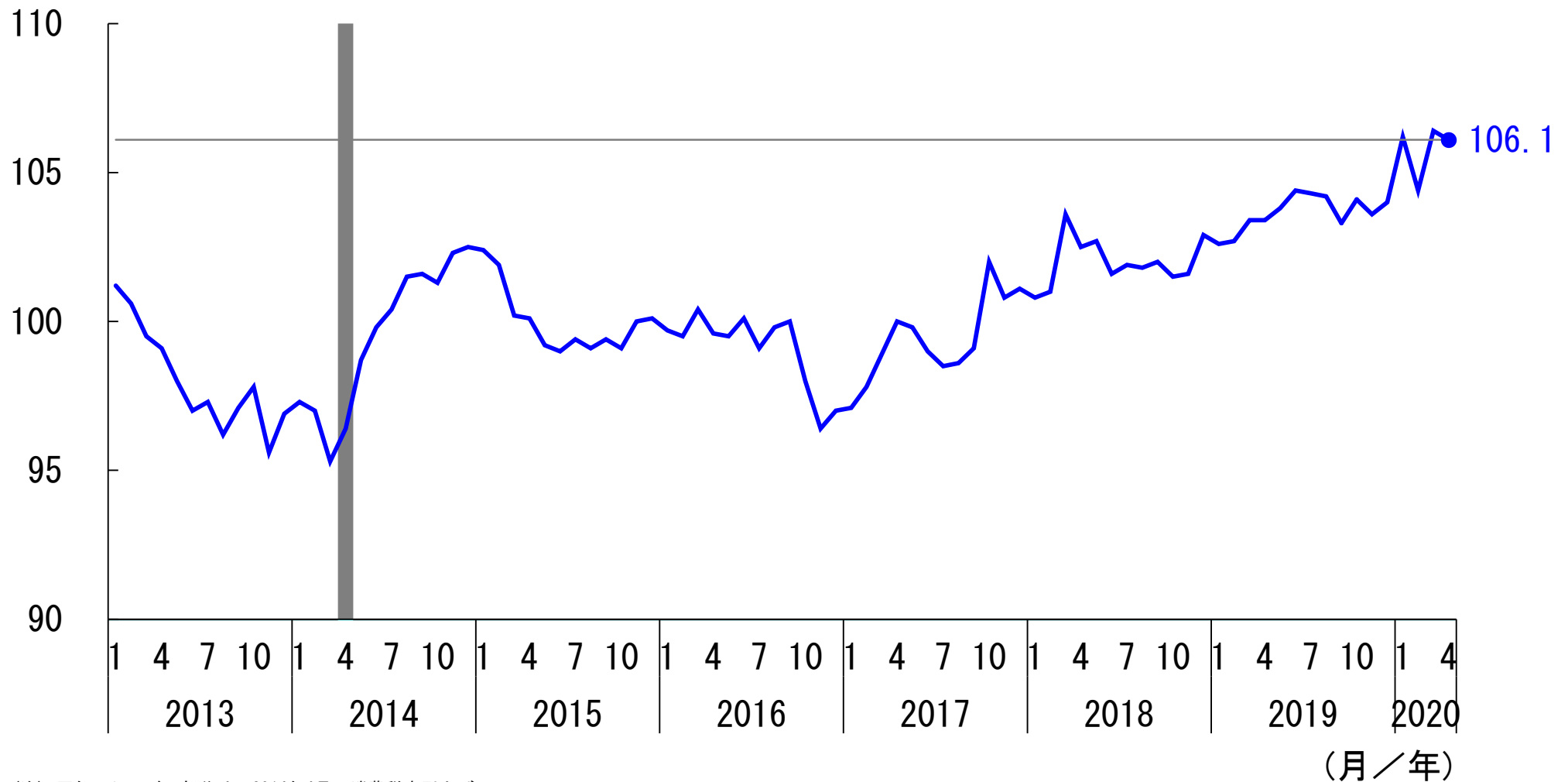
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	1.9%	2.4%
		半導体製造装置	28.6%	3.9%
		ノート型パソコン	67.5%	1.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.3%	-0.8%
		アルミニウム製建具	-4.1%	-0.3%
		電気照明器具（除. 自動車用）	-4.9%	-0.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.6%	-1.2%
		ガソリン	-14.1%	-1.6%
		仕上用化粧品	-19.9%	-0.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-31.7%	-34.6%
		普通乗用車	-41.6%	-26.0%
		軽乗用車	-43.3%	-3.7%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-11.0%	-66.3%
		駆動伝導・操縦装置部品	-35.3%	-7.6%
		自動車用エンジン	-34.1%	-6.0%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

・ 2020年4月の在庫指数は、106.1(前月比-0.3%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

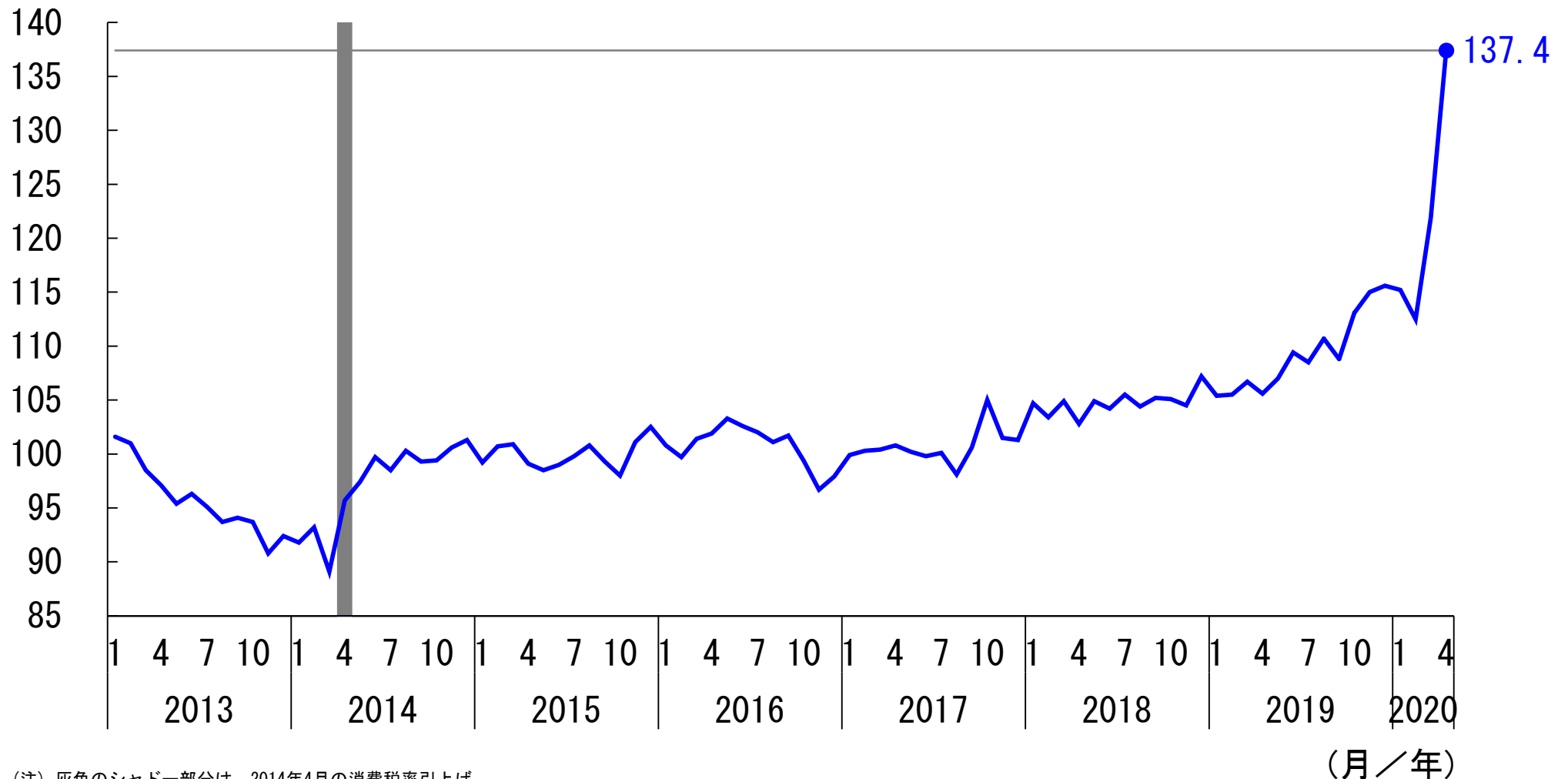


(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

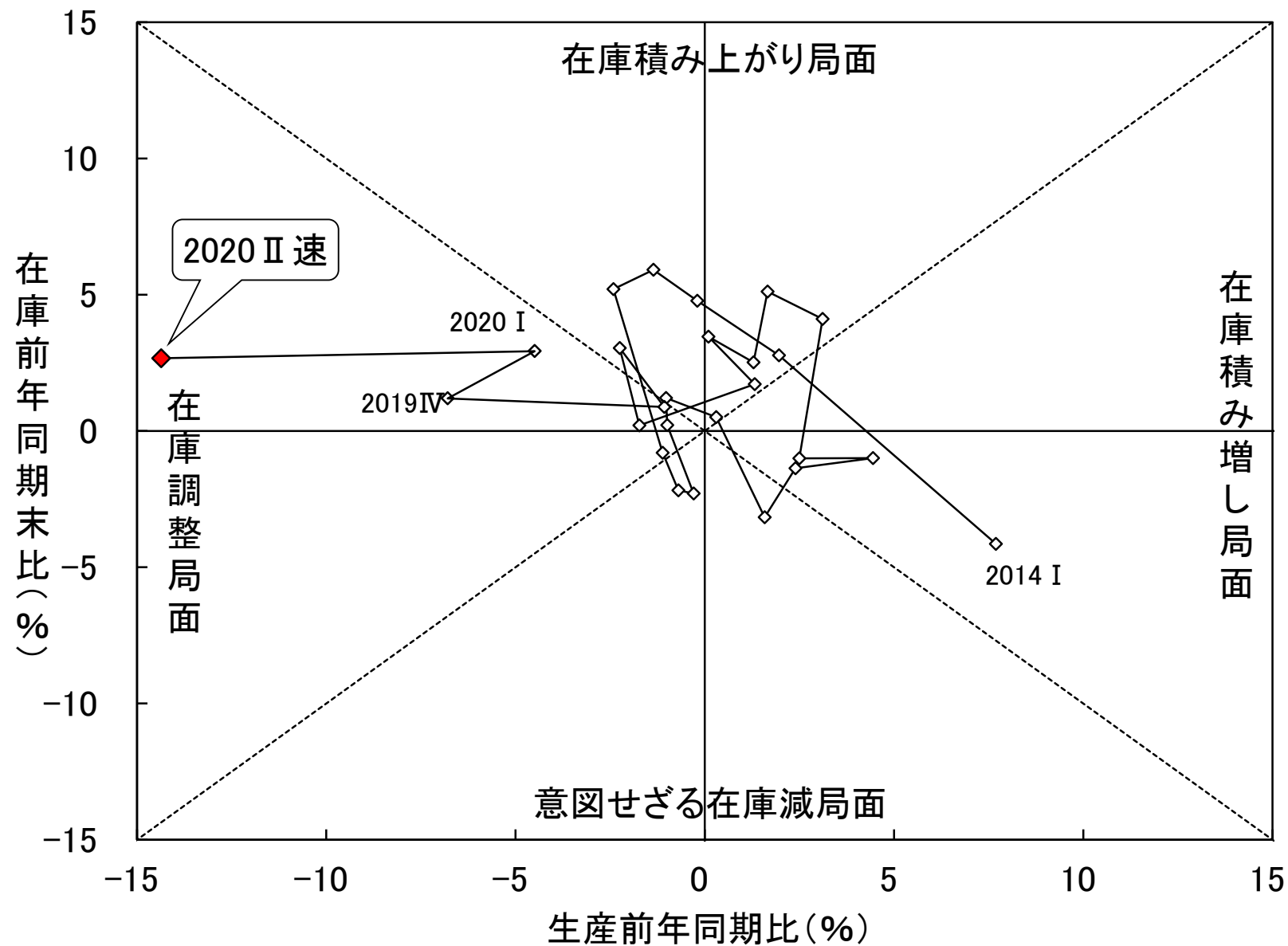
・ 2020年4月の在庫率指数は、137.4(前月比12.7%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「2020 II 速」の生産は4月の値、在庫は4月末の値を使用。

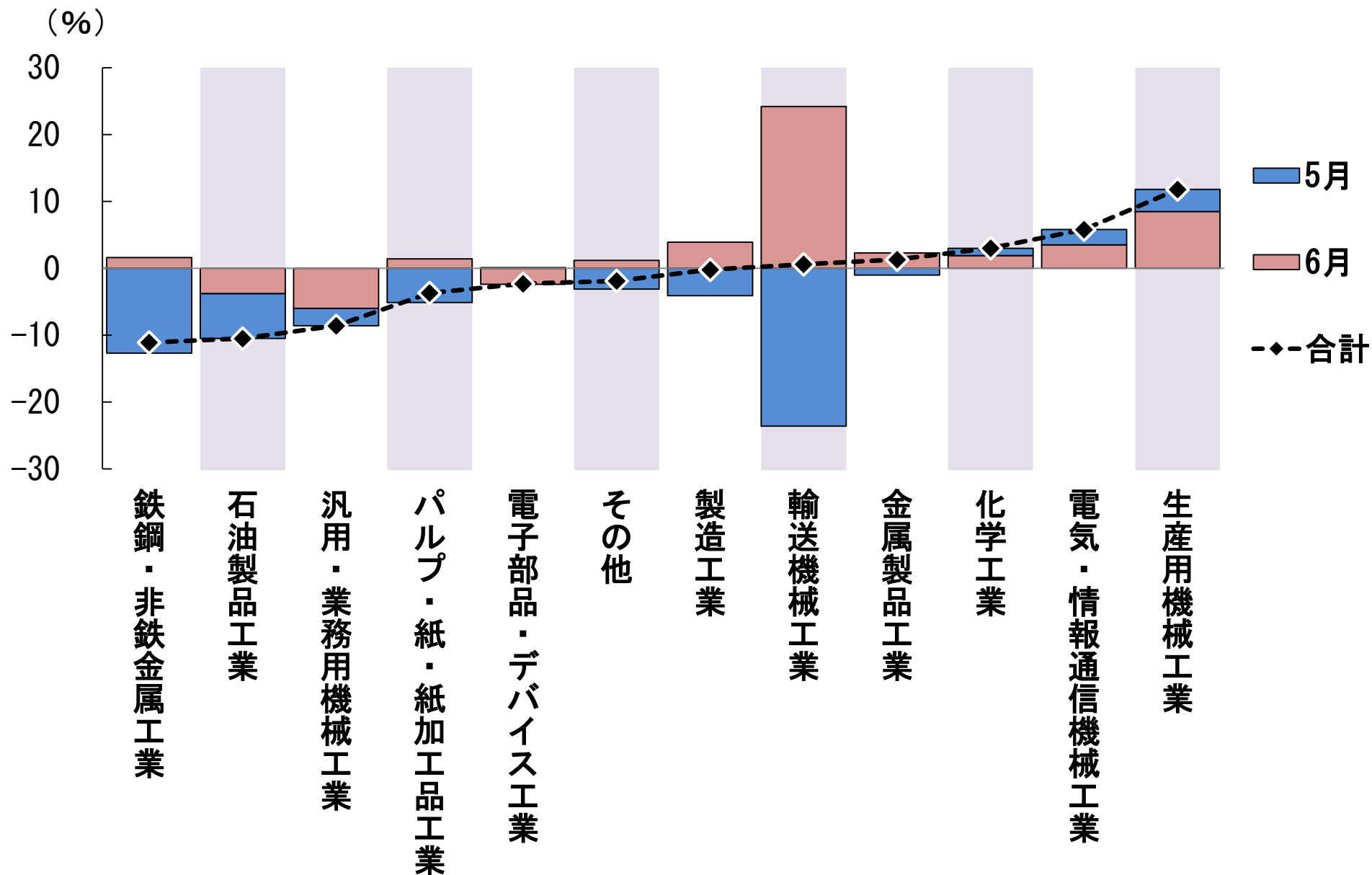
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	2020年5月見込み	2020年6月見込み
2020年5月調査(今回)	-4.1	3.9
2020年4月調査(前回)	-1.4	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
5月前月比	-5.7% (-6.6%~-4.7%)	-4.1

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年5月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	3.3%
電気・情報通信機械工業	2.3%
化学工業	1.1%
電子部品・デバイス工業	0.1%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-1.0%
石油製品工業	-6.7%

低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-5.1%
その他	-3.1%
汎用・業務用機械工業	-2.6%
鉄鋼・非鉄金属工業	-12.7%
輸送機械工業	-23.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年6月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	24.2%
生産用機械工業	8.5%
電気・情報通信機械工業	3.5%
化学工業	1.9%
金属製品工業	2.3%
その他	1.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	1.6%

上昇寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	1.4%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-3.8%
電子部品・デバイス工業	-2.4%
汎用・業務用機械工業	-6.0%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年4月の鉱工業生産の基調判断

「生産は急速に低下している」

基調判断の推移

- ・2015年9月～2016年5月 「生産は一進一退」
- ・2016年6月、7月 「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・2016年8月～10月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・2016年11月～2017年10月 「生産は持ち直しの動き」
- ・2017年11月、12月 「生産は持ち直している」
- ・2018年1月～6月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2018年7月～9月 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2018年10月～12月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2019年1月、2月 「生産は足踏みをしている」
- ・2019年3月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年4月～7月 「生産は一進一退」
- ・2019年8月、9月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年10月～12月 「生産は弱含み」
- ・2020年1月～2月 「生産は一進一退ながら弱含み」
- ・2020年3月 「生産は低下している」
- ・2020年4月～ 「生産は急速に低下している」